

事務事業名	下水道施設（管渠等）改築更新事業					事務事業No.	683 - 6													
1. 基本情報																				
担当部	担当課		担当係		作成者職名	作成者氏名		所属長職名	所属長氏名											
企業局	下水道課		建設係		主任	吉崎 宏樹		課長	西岡 真結											
施策体系	総合計画	政 策	6	都市基盤・生活基盤																
		施 策	8	上下水道の整備																
		基本事業	3	公共下水道事業の推進																
	その他の計画		個別計画		飯塚市公共下水道事業計画、飯塚市下水道長寿命化計画（管路施設）															
根拠法令・条例・要綱等	都市計画法、下水道法、飯塚市下水道条例、飯塚市下水道条例施行規程																			
事業開始年度	平成26年度		事業終了年度		—		事務事業類型		義務的事業（市に裁量の余地があるもの）											
実施手法	一部委託		補助金等の支給		補助金等あり		実施計画期間		令和3年度～令和7年度											
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）																				
概要	平成26年度に策定された飯塚市下水道長寿命化計画（管路施設）に基づき、老朽化した管路施設を改築更新することにより、未然に道路陥没等を防ぎ安定した下水道サービスの提供を行う。令和3年度以降は新たに策定したストックマネジメント計画及び令和2年度策定された飯塚市下水道事業経営戦略に基づき実施する。																			
対象	働きかける相手・もの	下水道施設(管渠等)																		
手段	方法・働きかけ（活動指標）	飯塚市下水道ストックマネジメント計画（令和2年度までは飯塚市下水道長寿命化計画（管路施設））に基づき改築更新工事を実施する。																		
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	管路改築更新の進捗を向上させる。																		
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）																				
指標名		単位	指標の説明（算式等）			前年度実績	本年度実績	次年度見込												
管路改築更新の実施延長（長寿命化計画 1331.9m）		m	各年度に改築更新を実施した延長			—	—	—												
マンホール蓋替え（SM計画 158箇所）		箇所	各年度に改築更新を実施した箇所数			—	—	—												
管路改築更新の実施延長（SM計画 416.7m）		m	各年度に改築更新を実施した延長			—	—	98												
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）																				
指標	進捗率（長寿命化計画に基づくもの）	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込													
		%	100																	
説明	改築更新延長／計画延長（1331.9m）	方向性	達成目標年度		—	—	—													
		維持	令和2年度																	
指標	進捗率（ストックマネジメント計画に基づくもの）	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込													
		箇所	158																	
説明	改築更新箇所数／計画箇所数	方向性	達成目標年度		20	—	—													
		維持	令和7年度																	
指標	進捗率（ストックマネジメント計画に基づくもの）	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込													
		m	416.7																	
説明	改築更新延長／計画延長（416.7m）	方向性	達成目標年度		—	—	—													
		維持	令和7年度																	
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）																				
経費区分	一般会計			—			特別会計			—										
予算科目・事業	会計	—			飯塚市下水道事業会計	款	4			資本的支出	項	1			建設改良費	目	2			施設改良費
	大	—			—	中	—			—	他	—			事業					
投入人員 （当該事務事業に対して1年間に投入した人員）	(R2以降)		前年度実績（千円）		本年度実績（千円）		増減理由（10%以上の場合）				次年度予算（千円）									
	正職員		0.70	人	5,563	0.70	人	5,701	国の補正予算によるもの。				0.70	人	5,701					
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
	再任用短		0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
	※計年度	1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
		1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0					0.00	人	0					
2級パート		0.00	人	0	0.00	人	0	0.00					人	0						
人件費計（A）		5,563		5,701						5,701										
事業費	直接事業費（B）		5,000		23,444						6,550									
	総事業費（A+B）		10,563		29,145						12,251									
直接事業費のうちの主な歳出内訳	委託料		0		0						1,550									
	工事費		5,000		23,444						5,000									
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）		359		3,007						204									
	国・県支出金		0		10,400						775									
	市債		0		8,028						0									
	一般財源		10,204		7,710						11,272									
その他（ ）																				

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	道路陥没による事故防止
効率性 評価	高い	社会資本整備総合交付金の活用（補助率1/2）し、コスト削減の意識をもって事業を推進している。
有効性 評価	高い	飯塚市下水道ストックマネジメント計画（令和2年度までは飯塚市長寿命化計画（管路施設））に基づいて順次改築更新工事を進めており、公共下水道事業の推進には貢献できている。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	—
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	—
	現状維持		
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
—			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
〔成果〕	—
〔課題〕	—

9.今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	〔理由〕 令和２年度作成の「ストックマネジメント計画」のリスク評価に基づく改築シナリオにより、改築、修繕を実施する。
現状維持	
コスト投入の方向性	〔理由〕 社会資本整備総合交付金を利用し、改築、修繕を実施する。
現状維持	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	令和２年度作成の「ストックマネジメント計画」のリスク評価に基づく改築シナリオにより、改築、修繕を実施する。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	「ストックマネジメント計画」に基づく調査、点検により情報の蓄積を行い、次期計画策定の基礎資料とする。

評価変更理由	成果の方向性	施設の維持管理の成果は現状を維持する必要がある一方、コンパクトシティ化を図る必要があるため、計画以上の敷設は不要。 技術会計の両面に精通している民間業者によるウォーターPPPの導入により、コスト削減を図ること。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	
	縮小	